

同窓会報 白百合

〈 題 字 〉
元仙台白百合短期大学教授 保井明子
〈 発 行 〉
仙台白百合女子大学・仙台白百合短期大学同窓会
同窓会事務局 仙台市泉区本町16番1号
同窓会事務局直通TEL・FAX(022) 372-3595
仙台白百合女子大学
TEL(022) 372-3254
FAX(022) 375-4343
〈 印 刷 〉
ハリウ コミュニケーションズ

No.
45

発行 2016年4月30日

同窓会総会に出席して

家政科 23 回生 堀籠 未来

第47回同窓会総会が、平成27年6月7日(日)お天気にも恵まれ仙台ロイヤルパークホテルにおいて開催されました。

今年は、家政科23回生、英語科2回生が卒業25周年記念です。準備段階からクラス幹事と連絡がとれない!連絡がとれる同級生が少ない!など様々なハプニングがありましたが、当日は千葉県から参加してくれた同級生もおり楽しい会となりました。

総会では、素敵なピアノ・フルート演奏を聴くことができ優雅で感動的なひと時を味わうことができました。

同期会では、還暦を迎える9回生の先輩方の協力を得ながら

「Tea Party」を開催することができました。改めて、先輩方には感謝申し上げます。また、先輩方の一致団結したパワーには感動いたしました。

お忙しい中、顧問の和田美稚子先生をはじめご出席いただきました先生方に感謝申し上げます。

最後になりますが、会の開催にあたりご尽力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、母校ならびに同窓会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



第48回 同窓会総会

期日：2016年6月5日(日)

会場：仙台ロイヤルパークホテル

お申し込み方法など、詳細につきましては別紙をご覧ください。

「還暦を祝う会」 「卒業25周年を祝う会」

今年は、短大家家政科10回生と家政科24回生と英語科3回生が対象となります。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

ごあいさつ

同窓生の皆様、お変わりありませんか。さて、本学は、1966年に短期大学としてスタートし、その後1996年に四年制大学となりましたが、2016年には、仙台で高等教育機関としての活動を始めてから50周年を迎えます。この記念すべき年を祝い、7月2日に、本学講堂にて記念式典を開催いたします。本学のこれまでの在り方を振り返り、さらに、今後の本学の在り方を考える機会にしたいと思っております。

現在、わが国の大学は、少子化の荒波にもまれ、冬の時代を迎えておりますが、本学も例外ではありません。しかし、わが国の将来を担う有為な人材を社会に送り出すべく、教職員一同力を合わせて日々努力を重ねております。また、白百合の伝統を守りながら新たな時代にチャレンジする、そのような姿勢で大学改革に取り組んでおります。特に、本学では、社会のグローバル化に対応するため、様々な取り組みを行っています。ご承知のように、そもそも、本学の建学の理

仙台白百合女子大学 学長
同窓会名誉会長
牛渡 淳



念、そして、カトリックの理念そのものが、グローバル化時代に必要な人間像と重なります。そのような意味で、建学の理念を生かした、現代の社会的ニーズに応えられる特色ある大学を目指して、今、大幅なカリキュラム改革を進めております。また、学内にグローバル・プロジェクトをスタートさせ、様々な取り組みを行っていますが、その一環として、フィリピンにある本学の姉妹校セント・ポール大学六校との連携を強めていく予定です。実際、この4月より、セント・ポール大学のメアリー・アン先生を招聘し、英語教育を担当して頂くことになっています。

これからも、本学が、仙台の地で高等教育機関として、ますますその存在意義を増し、社会の発展に貢献できますよう全力挙げたいと思っております。今後とも、同窓会の皆様のご支援を何卒よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様へ

仙台白百合女子大学・仙台白百合短期大学
同窓会会長・家政科1回生

渡辺 博子



同窓生の皆様 ごきげんよう！

東日本大震災から五年という時が過ぎて、あの当時の記憶が少しずつではありますが癒されて来ましたでしょうか。

同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年の同窓会報でもお知らせしてございますが、平成28年度は仙台白百合女子大学の前身でございます仙台白百合短期大学がこの泉の地に誕生して50周年を迎えます。1996(昭和41)年4月に開学致しました短期大学は家政科と栄養士コースの135名でスタート致しました。その後1978(昭和62)年に英語科が併設されて1996(平成8)年に時代の要請に応じて短期大学が昇華統合されて現在の仙台白百合女子大学になった訳でございます。校舎もその都度増設されましたし、又、改築などございましたが教育の理念はどの時代にもありまして一貫してカトリックの教えに貫かれておりました事をご周知の通りでございます。私達同窓生も、泉の地で学びました時期は違いますが貴重な青春の一時期をこの学び舎で過ごさせていただきました事に感謝をし、50年という歳月を重く受けとめたいと思っております。在

学中は何の抵抗もなく有り様に身をまかせて過ごさせていただきましたが、社会に出てさまざまな経験を通して学生時代に培われた精神的な学びがいかに大切で、恵まれた環境であったかと気付かされたのは私一人だけではない事と思っております。白百合の設立母体でありますシャルトル聖パウロ修道女会のマ・スールお一人おひとりに感謝の気持ちと又、大学に関わって来られました全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

この会報の中でもお知らせしてございます様に、大学では50周年の記念事業の一つとして2016年7月2日(土)に記念式典及び講演会が行われます。同窓生の方々の参加も呼びかけておりますので、是非御参加下さいませ様に御案内申し上げます。

本当に時の流れは早く驚くばかりでございますが、私達役員一同、同窓生としての絆を深め同窓会発展のために心一つにして頑張っていくつもりでございますので、会員の皆様、宜しくお願い申し上げます。

還暦を祝う会

家政科9回生 吉村 留美子

卒業から、早40年、諸先生方や役員の方々同窓会事務局の皆様にお祝いをして頂きましたことは、大変嬉しく、この会に出席出来たことは、自分が如何に恵まれた環境にいるかを再確認でき、感謝と感動の一日でした。総会は、素敵なお食事会から始まり、普段、体感することのない優雅な時を過ごし、フルコースのお食事最高でした。何より、懐かしい友人や先生方とお話し出来ましたこと本当に楽しいひとときでした。

総会后、引き続き「還暦を祝う会」を先生方にもご出席頂き、思う存分お話しが出来、皆さんも楽しんで、最後に「御母マリア」を合唱してすっかり学生の頃にタイムスリップ、若い頃に覚えた歌は、思い出すものですね。皆さんにまた、このような会を設けて欲しいと言われて、嬉しい限りです。先輩方にも助けて頂きましたことにも感謝、仙台白百合短期大学で学べたことに感謝です。



家政科9回生 大道寺 桂子

ドアを開けると一瞬でタイムスリップをしたかのような温かい空気が満ちており、懐かしい先生方のお顔、昔と変わらない友の華やいだ声。時は戻り、私達は松森の短大に通う学生でした。数々の思い出話に時の経つのも忘れるほどでした。社会に出て、それぞれの道を歩き長い時間が過ぎましたが仙台白百合短期大学で過ごした時間はかけがえのないものでした。まだまだ自然が溢れていた短大の敷地には月夜に野兎が跳ね、日暮も早くやって来るようでした。最終スクールバスを待つ間に課題の洋裁に苦戦しながら皆で歌った「御母マリア」。そこに歌を聞きつけたマスールも加わっての合唱に外の闇さえ明るくなるような心とむ時間でした。すべての先生方、大学関係の皆さまに支えられ二年という短い間でしたが私達は大切にされ、守られ、愛される事を体験しました。卒業して40年余、白百合の校章はいつまでも私達の心の中で輝き続けることでしょう。最後になりますが同窓会の開催にあたりご尽力下さった皆さまに心より感謝申し上げますとともに母校の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

みなさま
ごきげんよう！
ひさしぶりに...
白百合正装 三つ揃いで
ご挨拶いたします



卒業生の活躍

人間学部人間生活学科 健康栄養専攻2回生 阿部 智子

大学を卒業してからもう何年たったことでしょうか。思い返すと毎日がとても楽しく充実した4年間を過ごしました。

そんな私がなぜ栄養士を目指すことになったのかというと、それは高校生の時に叔父を病気で亡くしたことがきっかけです。

治療のため、元気になるためと食べたい物を我慢して食べず、必死で苦しい治療に耐えていました。叔父のように治療のために頑張っている方たちの役に立てる仕事に就きたいという思いからです。

大学卒業後、一年間受託会社での病院勤務を経て、現在は学生寮、社会人寮を管理運営する会社に勤務しています。入寮しているのは高校生から社会人までの男女です。



最大の特長は朝夕の手作り家庭料理と、常駐でお世話する寮長・寮母さんです。年齢層の幅も大きく、性別の違う方たちへの食事提供は、味の濃い薄い、料理のジャンルも好みそれぞれ

れですが、一食一食手作り愛情ごはんを皆さんの健康をサポートします。

また、数年前から仙台白百合女子大学に留学してくる学生さんの住まいと生活のお世話をさせていただいております。留学当初は日本食に慣れない様子でしたが、徐々に慣れ、帰国する頃には寮の食事のファンとなっていることと思います。キラキラした目で元気に学校に通う姿を寮でみかけるたび私も学生時代を思い出し初心に戻ります。

病院給食ではなく、健康な方たちへの食事提供業務に携わる今ですが、食事は生きていく上で欠くことのできないものです。ただ食べれば良い訳ではなくやはりバランスよく食べていただきたいですね。一人でも多くの方に寮の食事のファンになっていただけるよう、美味しい食事を届けたいと考えます。



仙台白百合短期大学・仙台白百合女子大学 50年の歩み

仙台白百合女子大学 大学広報室長 宮崎 正美

仙台白百合女子大学は、前身の短期大学創立から2016年で50周年を迎えます。

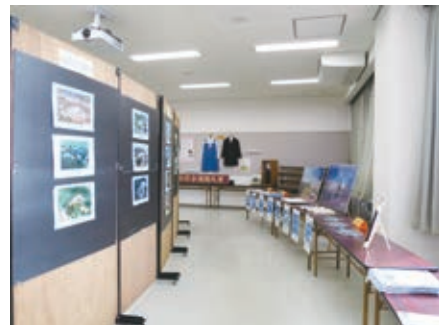
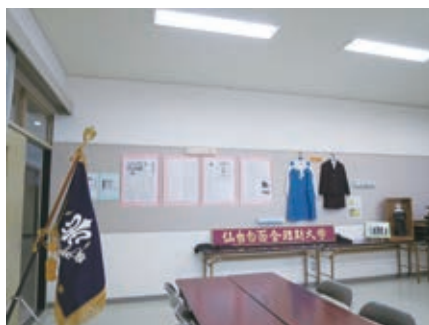
短期大学時代を中心とする歴史に関わる史料(一部)の展示を、2015年10月24日(土)、25日(日)の白百合祭にて行いました。入学式・卒業式の時に壇上に輝いていた仙台白百合短期大学の学旗、および仙台白百合女子大学の学旗を間近に見ることもできました。正門に掲げられていた、短期大学の銘板は30年の歴史の証です。

同窓会からお借りした短期大学時代の制服と作業着は、実に洗練されたデザインです。同窓生の方々が、

「あー、懐かしい」「制服ってこんな風だったかしら」など、思いの感想とともに、眺めておられました。制服はえんじ色で、ボタンの一つ一つに白百合マークが入ったもの。作業着は(幼稚園から高等学校までで使用するタブリエに相当するのでしょうか)デニムのような丈夫そうな生地の下に、装飾(フリル?)のついた女性らしいブラウスの組み合わせ。当時とても洒落た服装だったと思います。

この現キャンパスの発展の様子が、創立時1966年、1970年代、1980年代にかけての家政科の時代、1987年の英語科新設以降の短期大学、1996年の仙台白百合女子大学の新設、キャンパス整備による2007年以降の現在と、写真でみることができました。

各史料の借用に快く応じてくださいました方々なかでも同窓会の皆様には深く感謝申し上げます。



仙台白百合女子大学 創立50周年記念式典・記念講演

— 仙台白百合女子大学は前身の仙台白百合短期大学が創立されてから2016年で50周年を迎えます —

記念式典・感謝ミサ・記念講演

日 時：7月2日(土) 13:30～16:00 場 所：仙台白百合女子大学 講堂

記念講演講師：高祖 敏明 氏(上智学院理事長) 申込締切：2016年6月10日(金)

申込方法：氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号(又はE-mailアドレス)をご記入の上、ハガキ、FAX、E-mail、TELで下記までお申込みください。同窓生の方は申込みの際にお知らせ下さい。

お問い合わせ・お申込みは、
大学広報室まで E-mail: koho@sendai-shirayuri.ac.jp TEL: 022-374-4475 FAX: 022-374-5082

創立50周年にあたり皆様から御寄付を受け付けております。下記の要領でご協力よろしく申し上げます。

創立50周年記念事業 寄付金募集

金 額：一口 1万円(一口以上) 募集期間：2017年3月31日まで

払 込 先：ゆうちょ銀行(郵便局) 口座番号：02270-3-107886 加入者名：学校法人 白百合学園

※振込用紙の通信欄に、卒業学科・回生(又は卒業年度)、住所、氏名(旧姓も)、及び「創立50周年記念事業」を明記してください。

開学 50 周年

尽きない「泉」の宝

学校法人白百合学園 理事長
式井 久美子



1970年の秋、帰国早々着任した仙台白百合短期大学での四年半の体験は、大学教育に関する既成概念を根底から覆すほどの驚きと感動の連続・別世界への出発点となりました。

調理・洋裁・和裁・手芸・染色、理化学系科目など多種多様な実験・実習科目に彩られた専門・一般教養科目のカリキュラムをこなしながら、自主研究を行い、教職課程や学生会・大学祭を始め、クラブ、サークル活動に生き生きと励んでいる姿や、みごとに草木染の作品、スーツはもとより、合わせの着物までを仕上げる技術と忍耐力に感嘆し、専門料理店に引けをとらない調理実習の成果に目を見張ったこと、大学祭後夜祭にディスコ・パーティを実施する許可を学長から得るため学生に協力したこと、片や英語の授業で悩ませたことなど、数々の思い出が、心に刻まれております。また、大講義室が、黒板の前に金屏風を置くと式場に、雨の日は体育室というように、見事に様変わりをするのに驚愕したものでした。

20年を経て、英語科が増設され、再び泉キャンパスで過ごす機会が訪れ、家政科の学生たちが先輩としての誇りと自信に満ちて、英語科一年生の世話をする頼もしい姿に感動いたしました。新学科誕生と同時に、制服が廃止され、講堂、LL・情報処理室、秘書実務室などの設備、行事に、英語圏文化や、日本文化の英語での紹介、大学祭でのフィリピンへの奨学金送付のためのチャリティ喫茶、海外研修などが加わり、海外との交流も活発になりました。更に1996年、同じ建学の精神に基づく四年制大学(人間学部)へと昇華し、今日に至っております。奉仕の精神に生きる女性として、社会でも家庭でも信頼され、早期から、国内はもとより、海外の様々な職場で活躍する場が与えられたのは、半世紀の歴史と伝統を受け継いでこられた先輩方のお蔭に他なりません。

同窓会から、母校への感謝と後輩への信頼・夢を託して、英語科増設の折に贈られた「天への回廊」には、将来への夢と無限の可能性が、創立25周年記念に寄贈された石碑「いのちの泉」は、慈しみそのものの神様が常に共におられることを想起させる卒業生の思いが込められている「泉」の宝でございます。創立50周年にあたり、今日までの同窓会のご尽力を心から感謝し、今後ともお力添えを願い、神の豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。



— 仙台白百合短期大学 創立25周年記念
同窓会より寄贈の石碑(保井明子 書) —

創立50周年を迎えて

同窓会顧問
元学長

和田 美稚子



1966(昭和41)年4月、仙台白百合短期大学が誕生しました。

宮城県宮城郡泉町松森字本田46番地と呼ばれていたここ泉の地には、まだバイパス(現国道4号線)も地下鉄(南北線)も通っていませんでした。短期大学の土地として準備が始められた「本田山」は雑木林の小さな山、辺りは見渡す限り続く田圃と畑。路線バスもたまにしか通らない県道(根白石・塩釜線)をとぼと歩いていると、砂ほこりをあげて傍らを走っていくトラックに道を譲り、立ち止まらなければならない有様でした。

家政科第一回生は、家政専攻89名、食物栄養専攻46名でした。初年度は一年生しか在籍していなかったため、空いている教室でクラブ活動ができるくらいでした。

あれから50年の歳月が過ぎ、辺りは驚くほど発展し変化して来ました。そのような中であの頃と変わらない一つのこと、それは白百合の卒業生は「思いやりがり、心配りの出来る優しい人」という評価を度々耳にすることです。私たちにとってこれはとても嬉しい「お褒めの言葉」です。

因みに、フランシスコ教皇様は、昨年12月8日から今年11月20日までを「いつくしみの特別聖年」とお決めになり、特に神様の広い心、いつくしみ深い愛を私たちも做うように勧めておられます。神様は御子イエス・キリストのご生涯を通して、私たちに「優しいお父様の心」すべてを赦し、ひとり一人を慈しんで下さる心を示して下さいました。

この優しいと言う語について、以前私はとても考えさせられる話を聞いたことがあります。「『優しい』という字は、にんべんに憂いと書きます。優秀の優、優れたという意味です。憂いをもった人、弱い人、苦しんでる人の傍でともにいる人、悲しんでいる人に寄り添うことが出来る人は本当の意味で『優しい人』である」と言うお話でした。今、私たちの生活の中でこのような意味で「優しい人、いつくしみ深い人、全てを包むような広い心の持ち主」が求められています。家庭で、職場で、学校でこのような意味で優しい人が増えればもっと住みやすい社会、平和な世界になることでしょう。

卒業生の皆様、日々の生活の中であってどうかこの「白百合の心」を忘れず、各自が置かれた場所で白百合の花のような凛とした風格と思いやりのある「優しい人」でありますように心から期待しております。



— 昭和43年頃の正門 —

ホームカミング「バザー」



同窓会事務局主催のホームカミング「バザー」が、27年度白百合祭同日の10月24日(土)25日(日)両日開催いたしました。

卒業後の大学の様子や、同窓生の多岐に渡ってのご活躍を紹介したり、また訪れた卒業生の皆様が恩師や旧友と楽しいひと時を過ごしていただく事が、事務局一同なにより嬉しく思っております。

同時に開催いたしますバザーでは、毎年好評の五島軒カレー・白百合マーク入りクッキー等の他に、マ・スールや卒業生手作り品・リサイクル品として衣類・装飾品・日用雑貨・観葉植物等の他に、今回は御着物・帯・簪等多数出品されました。

中には「今年は雑巾ありますか?」「ワイングラスある?」とお尋ねのお客様もいらして、大変賑やかに行う事が出来ました。

当日バザー販売のお手伝いをしてくださった同窓生の皆様、バザー品を出品くださった多くの皆様のご支援、ご協力に事務局一同深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

28年度は仙台白百合女子大学前身であります、仙台白百合短期大学が開校し50年を迎えます。

卒業後中々大学を訪れる機会がない方も、これを機に是非ホームカミングにいらしてみてもはいかがでしょうか。

皆様とお会いできる事を事務局一同楽しみにお待ちしております。

尚、バザー売上金はチャリティーとして大学等へご寄付させて頂きました。

同窓会事務局では、通年、バザー品を募集しております。お家で不用になっている品(食器類、タオル、衣類など)がありましたらぜひご協力お願い致します。【連絡先】 仙台白百合女子大学同窓会事務局 ☎ 022(372)3595

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈短大〉

〈教職員〉

回生	科	組	名前	旧姓
1	家政	B	佐藤潤子	(吉村)
9	家政	食	見澤レイコ	(羽田)
12	家政	A	早坂幸恵	
22	家政	1	星朋子	

名前	名	前
佐藤健	本学元教授	(2015年7月)

2015年11月4日(水)12時20分より 本大学講堂にて死者祈念ミサが行われました。

ご逝去なされた方の情報がお分かりになりましたら、事務局までお知らせ下さいますようお願いいたします。

PAULINIANの精神

仙台白百合女子大学 国際交流センター 鈴木 和裕

創立50周年を迎えお慶び申し上げます。

日頃より同窓会の皆様には国際交流活動にご理解と温かい支助を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様で国際交流センターも開設10年を迎えました。平成21年度からは海外より留学生の受入れを始め韓国・中国・台湾より延べ23名が白百合で学び、帰国後は世界中のあらゆる方面で活躍しております。受入れ初年度はまだ予算化されておらず生活必需品の購入を初代センター長の遊佐先生と悩んでいたところ同窓会で快く動いて頂き、わずか数日で冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・絨毯・台所用品・寝具等の家財道具やお米までそろえて頂き感激したのがつい先日のように思えます。

また、フィリピンボランティア研修の際は、遠方の同窓会員よりダンボール箱数個の文具や衣類を毎年送って頂きました。

Paulinian(ポーリニアン)という言葉をご存知でしょうか?フィリピンの姉妹校ではよく耳にする言葉です。これは聖パウロの精神を受け継いだ人々という意味で、まさに白百合の「愛と奉仕の精神」であります。卒業して社会人になって生活することは海図のない航海を旅するようなものです。晴天に恵まれ順風満帆の時も嵐に遭遇し挫折することもあります。

同窓会員の皆様には Paulinianとしての精神を大事に今後もご活躍されることと同窓会組織のますますのご発展をお祈りし日頃の感謝の気持ちに代えさせていただきます。

私の夢は白百合で学んだ留学生達と同窓会組織を作ることです。いつの日かこの美しいキャンパスに世界中から家族連れで集まり賑やかに語り合う日が来ることを願っております。それが私の“Mission of Paulinian”です。



— 留学生との食事会 —

平成 27 年度入会式

2016年3月17日(木)、本学講堂にて人間学部17回生の同窓会入会式が行われました。マリア様に見守られ、256名の新会員を迎える事が出来た事を嬉しく思います。

卒業生の皆様には、大学生活で学んだ多くの事を原動力に、益々のご活躍と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



— 同窓会より 記念品 —

平成27年度 会計報告

平成27年度 決算報告

項目	収入	支出	備考
繰越金(平成26年度)	14,059,897	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費(平成27年度)	3,615,000	0	女子大学17回生
年会費	102,000	0	
利息	2,235	0	預金利息
特別収入	0	0	
入会式	0	0	卒業記念品等
会議費	0	32,197	幹事会・役員会等
総会費	431,600	686,907	会場費・飲み物代等
会報費	0	988,459	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	67,662	花代(入学式・卒業式)・その他
事務費	0	1,019,877	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	23,500	ホームカミング・大学祭広告
予備費	0	1,000,000	仙台白百合女子大学創立50周年記念事業寄付金
合計	18,210,732	3,818,602	

平成27年度繰越金 14,392,130円

平成28年度 予算(案)

項目	収入	支出	備考
繰越金	14,392,130	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費	4,050,000	0	女子大学18回生
年会費	100,000	0	
利息	2,235	0	預金利息
特別収入	0	0	
入会式	0	270,000	卒業記念品等
会議費	0	40,000	幹事会・役員会等
総会費	550,000	750,000	会場費・飲み物代等
会報費	0	1,100,000	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	100,000	花代(入学式・卒業式)・その他
事務費	0	1,200,000	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	40,000	ホームカミング・大学祭広告
予備費	0	200,000	その他
合計	19,094,365	3,700,000	

差引次年度繰越予定額 15,394,365円

人 事

〈退職〉 2016年3月31日付

心理福祉学科

教授 宇野 忍

図書館 宮野 真理子

(2016年4月1日より嘱託採用)

〈新任教員〉 2016年4月1日付

心理福祉学科

特任教授 鈴木 敏明

グローバル・スタディーズ学科

特任講師

メアリー・アン・パスクアル

健康栄養学科

助手 福原 千恵

年会費お支払のお願い

卒業時に納入していただきました終身会費は、通信費等に使用されておりましたが、諸般の値上がり等により、60才以上の方に年間2,000円の会費のご協力をお願いしております。

尚、60歳をお迎えにならなくても、ご賛同を頂けます方はご協力よろしくお願いいたします。

会費は、下記の口座へお振込下さるようお願いいたします。

記

- ゆうちょ銀行 02280-2-137248
- 加入者名 仙台白百合女子大学同窓会
送金なさる時、回生も書いてください。
(封筒の名前の下に書いてあります。)
(例 家政科1回生)
- 年会費 2,000円
振り込み手数料はご負担をお願いいたします。

昨年度ご協力いただいた皆様方に、深くお礼申し上げます

新幹事紹介

仙台白百合女子大学17回生

人間発達学科	心理発達専攻	砂口 実穂／長岐 悠花
	子ども発達専攻	阿部 由佳／渡邊 加純
総合福祉学科		阿部 愛美／鈴木 里奈
健康栄養学科	管理栄養専攻A	及川海咲姫／大武 綾華
	管理栄養専攻B	白坂はるか／高橋 那緒
国際教養学科	A組	酒井 茉莉／斎藤 真
		猪俣 理香
	B組	岩佐 明澄／高林 優希

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会では、大学より提供いただいた同窓会名簿は同窓会会報の発送と幹事へのお知らせのために利用させていただいております。

還暦祝い・25周年の祝い・同期会などの必要と認められる場合のご連絡については、代表者(学年幹事等)の方に、使用目的の誓約書を提出していただくをお願いしております。

このように、個人情報については適切に取り扱っております。

住所・姓名に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。その際、下記の事項をお忘れなくご記入の上、電話・ハガキまたはファックスにてお知らせくださいますようお願いいたします。

記

- 氏名(現・旧) ● 住所(現・旧)
- 電話番号 ● 学科・回生・クラス

【連絡先】

仙台白百合女子大学 同窓会事務局
仙台白百合短期大学

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1
TEL・FAX (022) 372-3595

(毎週木曜日開局)

● 編集者

阿部美恵子(家政科3回生) 塚本 良子(家政科5回生)
斉藤 礼子(家政科15回生) 西條るり子(家政科15回生)